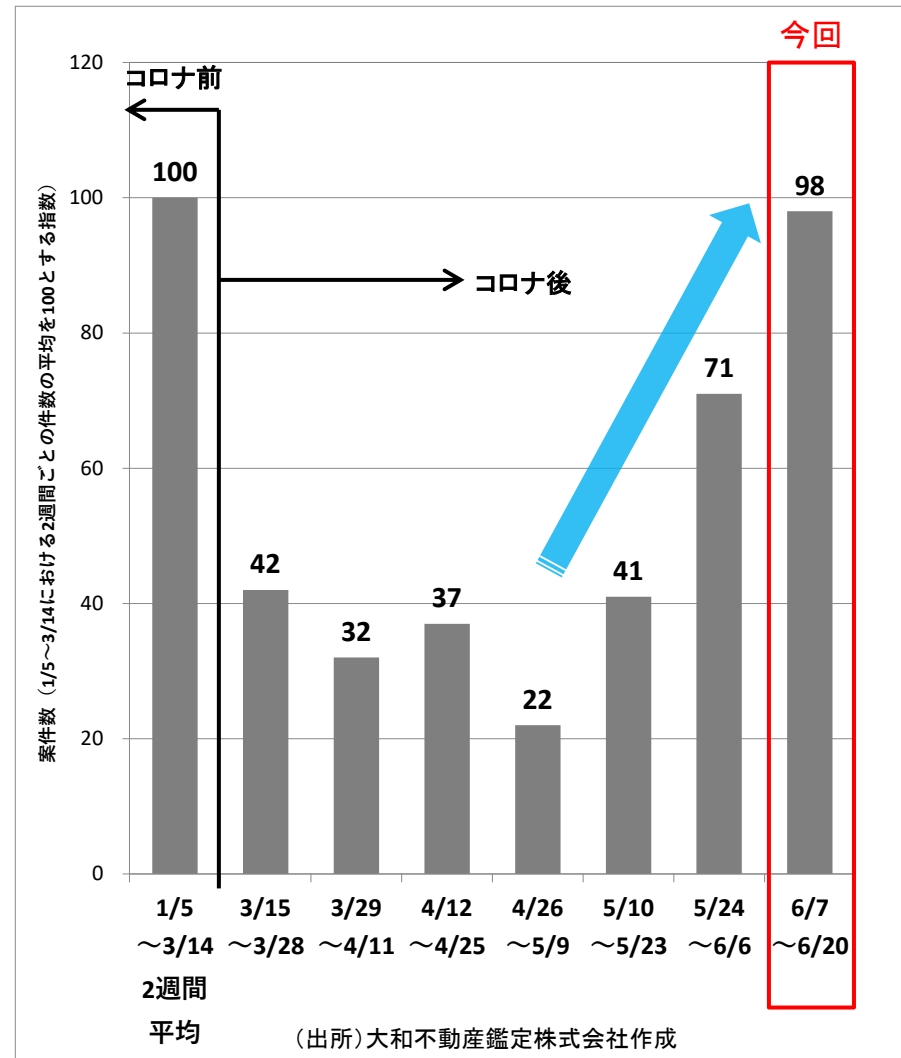


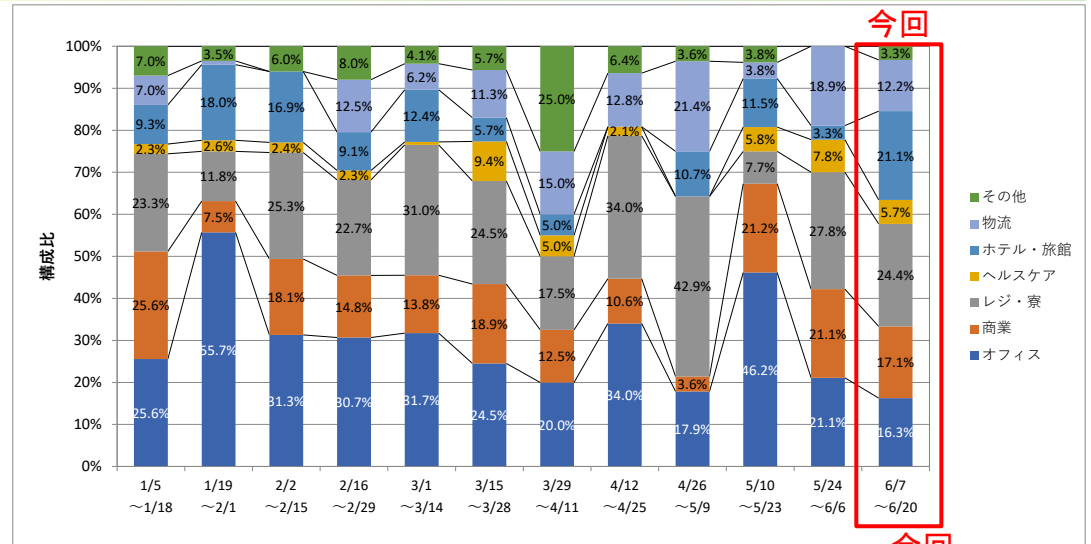
不動産取引市場の先行指標(鑑定問合せ件数の推移)

- 右図は、1月以降のお客様からの鑑定問合せ件数をコロナ前後の2週間単位で比較したものである
- コロナ前の2週間平均を100とすると、コロナ後は22まで落ち込んだが、GW明けから件数が増え始め、直近では98まで回復した
- GW明けからの復調傾向は変わらず続いている



アセットタイプ別・エリア別比率の推移

- 物流は低下
- ホテルは大きく上昇
- レジ・ヘルスケアは、件数が増加したものの比率はやや低下
- 商業、オフィスはやや低下



- 前回ゼロの地方大都市圏は約9%まで上昇
- 近畿・中部は横ばい
- 首都圏は上昇
- 都心5区は低下
- 都心5区を含む首都圏は横ばい

